



# 神戸学園都市

## ワイズメンズクラブ



THE Y'S MENS CLUB OF KOBE GAKUENTOSHI  
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

< 主 題 >

2018年12月(通巻294号)

- ・神戸学園都市クラブ会長: 田辺征一; 地域との触れ合いを通してクラブの成長と発展を!
- ・国際会長: Moon Sang-Bong(韓国); 私たちは変えられる。
- ・アジア太平洋地域会長: 田中博之(日本); アクション!
- ・西日本区理事: 遠藤通寛(大阪泉北); 未来に残すべきものを守り育てる。
- ・六甲部長: 大田厚三郎(神戸西); 六甲部は一つの体。共に助け合い、部全体の発展向上をはかろう。

2018年12月: EMC-E YES;"Y's Men's Windows 100(→2022)" 2022  
年のワイズ100周年までに、全ての部においてエクステンションに挑戦して、100クラブ  
+2022名を実現しましょう!(E) YES 献金はエクステンションを支援するためのもので  
す。 小野勅紘 EMC 事業主任(西宮)

12月第1例会

- ・日時: 2018年12月8(金) 18:30~21:00
- ・場所: 西神戸 YMCA
- ・内容: クリスマス会
  - (1) クリスマス礼拝
  - (2) 食事会
  - (3) ビンゴゲーム

< 今月の詩 >

「貧しき主婦の朝の歌」

うつくしきかなこの日、  
神のたまえるこの日。  
天にはよろこびかがやき、  
地にはいのちのかおり。  
(4頁に続く)

12月誕生日おめでとう

- ・丹家元陽メン(12/4)

11月の出席状況

・在籍者	14名
・出席者	10名
・出席率	71.4%
・メネ/コメ	3名
・ゲスト/ビジタ	10名
・出席者合計	23名

11月累計ファンド成績

・ニコニコ	0円
・CS(年賀切手)	0円
・TOF(断食)	0円
・FF(家庭の断食)	0円
・BF(古切手)	0円
・東日本募金	0円
・Yサ・ASF	0円

[役員] 会長: 田辺征一、直前会長: 田辺征一、書記: 杉本隆人、会計: 佐伯一丸、連絡主事: 達 直樹  
 [委員] 地域奉仕・環境: 館忠之、丹家元陽、Yサ・ユース: 長坂泰一、藤井信人、交流: 野呂 隆、阿部信太郎、  
 ファンド: 中村 剛、合田純二、杉本隆人、野呂隆、佐伯一丸、メネット: 藤井久子、杉本裕子、EMC: 杉本隆人、  
 広報・ブリティッシュ: 佐伯一丸、藤井久子、メール委員: 田辺征一、  
 [六甲部役員] 地域奉仕・環境事業主査: 藤井久子  
 [IBC]台湾高雄ポートクラブ(2004年1月締結) [DBC]東京武蔵野多摩クラブ(2011年5月締結) [DBC]岡山クラブ(2018年6月)  
 〒651-2102 神戸市西区学園東町 2-1-3 TEL078-793-7402 FAX 078-793-7470  
 事務例会・第1木曜日、第1例会・第3木曜日 Home Page <http://www.kobeymca.org/ys/gakuen/bulletin.html>  
 西日本区ホームページ <http://www.ys-west.or.jp/rd.php>

## <11月第1例会報告>

会長 田辺征一



11月例会は公開例会として、三鷹高次脳機能障害研究所所長の関啓子さんから「伝えたい、脳卒中とその後遺症～当事者になった脳卒中リハビリ専門家の物語～」と題してお話をお聴きしました。関さんは2009年7月、神戸大学医学部教授として在職中に脳梗塞を発症され、医者から患者の立場に、研究者から被研究者の立場に置かれた。

講演の前半は脳卒中について。脳梗塞と脳出血を総称して脳卒中と言う。患者数は広島市人口に匹敵する117万人であり、寝たきり原因の第1位となっている。いつでも誰でもなる可能性のある病と言える。脳損傷後には運動麻痺や言語障害などの身体的後遺症だけにとどまらず、時として、それまで当たり前に行っていた精神活動が出来なくなる「高次脳機能障害」をもたらす。これは文字や数字を見ても何を意味するのか分からない、人の顔を見ても認識できないなどの認知機能障害であり、患者数は50万人に達する。

脳卒中の予防としては①高血圧・肥満・喫煙などの危険因子を減らす、②食事に注意して運動習慣を身につける、ことなどが大切である。

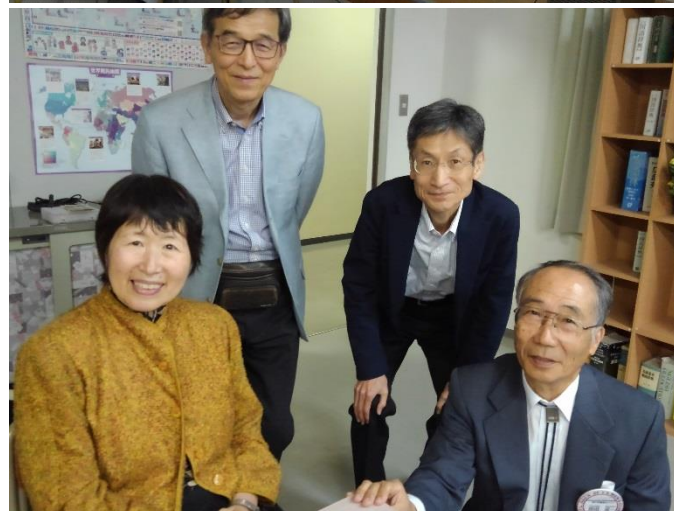
後半は、発症から懸命のリハビリにより損傷機能を克服されるまでをお聴きした。右側脳梗塞による左半身機能障害に加え、左側半分の間欠無視、発語障害、優柔不断などの高次脳機能障害が見られたが、熱心なリハビリと脳トレーニングにより発症10か月という短時間で現職復帰を果たされる。現在は後遺症を持ちながらも研究・講演・執筆活動を精力的に行っておられる。

お話の中で興味深かったことは、脳内の血栓を溶かす治療により動脈が再開通した直後に声が出たこと、右脳損傷で失語症が出たことは、通常左脳にある言語野の一部が、左利きの関さんの場合、右脳にもあると言えることであった。

最後に関さんは Resilience (折れない心) の大切さを強調された。それには、ポジティブで柔軟な思考、ユーモアのセンス、逆境を楽しむ心、家族・友人の存在とともに「神様は試練とともにそれに耐えられるよう、逃げ道をも備えていてくださいます」という聖書の言葉への信頼があげられる。

私はDBC東京武蔵野多摩クラブの今年2月例会の報告を読み、是非、関さんのお話を聴きたいと思い、

今回の卓話を企画しました。当日は学会での講演の前日の上、必ずしも万全でない体調を押して1時間以上お話しいただいた。常に物事を前向きにとらえる人柄と生き方に多くの学びをいただいた。心からの感謝と今後のご活躍の上に神様の祝福があることを祈ります。



左から 関啓子さん、ご主人、矢田俊彦さん、田辺

## <12月事務例会報告>

杉本隆人

日時：2018年12月6日(木)

19:00～21:00

場所：西神戸YMCA

出席者：阿部、合田、佐伯、杉本、館、達、田辺、丹家、中村、野呂、藤井(信)

メネット：阿部



### 1. 報告事項

(1) 西日本区報11月号、YMI world、ビジョン基本計画、配布

(2) ファンド利益 <チャリラン餅つき¥39,889、ジャガイモ¥67,900>

蒸籠、羽釜、杵などの購入費¥65,777は設備費として別途計上

- (3) ゆとり作業所への支援金 ¥30,000 を手渡す。
- (4) チャリティラン 2018 第3回実行委員会(評価会) 12/3 (月) 神戸YMCA 田辺

## 2. 協議事項

- (1) 新年合同例会 1月22日(火) 18:30~20:30 グリーンH ¥4,500  
学園都市クラブ出し物(ドライバー、聖句朗読、祈祷のどれか) 担当依頼あり  
参加クラブ: 神戸西、宝塚、学園都市  
当クラブの参加予定者: 田辺、杉本、野呂
- (2) 25周年記念例会 3/16 (土) プログラム演奏 河合久美子(京都ウエストクラブ)、吉田由美(大阪なかのしまクラブ)、講演者の選択は、杉本実行委員長が担当し、早急に手配する。
- (3) クリスマス会 12/8 6:00~  
他ワイズからは、菅原ワイズ出席  
役割分担を決定し、設営、買い出し班は pm5 時に集合
- (4) 街頭募金 西神戸YMCA 12/8 (土) 15:30~16:30 学園都市駅前 15時集合
- (5) 1月事務例会日 1月26日の新年例会の最初に行う
- (6) 例会ドライバーの確認  
12月: 達、1月: 丹家、2月: 杉本、3月: 藤井ひ、4月: 佐伯、5月: 舘、6月: 野呂
- (7) リーダー報告会(ワンキャンプ、ラオスワークキャンプ) 2月7日(木)の事務例会で行う。
- (8) 今後の例会予定:(年間計画表参照)
  - ・12月8日(土) 18:00~ クリスマス会
  - ・1月26日(土) 新年例会 「あみ」(板宿)
  - ・2月14日(木) 19:00~ アンガーコントロール 追原三重さん (公開例会)
  - ・3月16日(土) 学園都市クラブ25周年記念例会
  - ・4月18日(木) 19:00~ 手作り楽器漫談 マイストロ足立 (公開例会)
  - ・5月16日(木) 19:00~ フルートアンダンテ (公開例会)
  - ・6月20日(木) 19:00~ 引継ぎ式

## 3. その他報告

YMCA 間さん 東山山荘での研修会終了

## 4. 今後の西日本区・六甲部行事予定(年間計画表参照)

- ◎ 神戸市民クリスマス 12/14 (金)
- ◎ 宝塚クラブ 市民クリスマス 12/14 (金) 19:00~ 宝塚ベガホール 無料
- ◎ 神戸クラブ クリスマス例会 12/15 (土) 18:15~ ¥5,500
- ◎ 神戸ポート 1月例会 新春コンサート 1/10 (木) 神戸YMCA  
例会 18:30 ~ ¥1,000、コンサート 19:00~
- ◎ 芦屋クラブクリスマス会 12/23 (日) 18:00~ H竹園 ¥6,000 田辺、中村、野呂、杉本の4名参加予定
- ◎ 神戸学園都市クラブ25周年 3/16 (土)  
西神オリエンタルH

## <長坂泰一ワイズを偲んで> 会長 田辺征一



12月6日、学園都市クラブはまた一人大切な盟友を失った。その日は事務例会で、例会後、6名でお別れに行くことができた。兄弟は2017年2月の入会当初から食道ガンと闘い、入退院を繰り返すも最後までワイズ活動に意欲を燃やしておられた。

昨年3月号ブリテンの<新入会員紹介>では「生きる力と社会奉仕を求めて」と題してご自身の歩みをつづっておられる。若いときに神戸YMCAの英語科・英会話科を修了され、北米英語研修旅行にも参加。一昨年、45年ぶりにシアトルを訪問。Youth 交流 50周年行事の中で Y's メン活動に触れられたのが、入会のきっかけであったとのこと。入会後は例会や六甲部の集いに病を押して出席されていた。

長坂ワイズとは家が近かったこともあり、例会後、よくご自宅まで車でご一緒した。「その内、朝霧駅前の居酒屋で一杯やりましょう！」と約束していたが、それもかなわず、心残りの一つである。

今は亡き檜木ワイズとヨットで行った余島ツアーのことで話に花が咲いていることでしょう。長坂ワイズから来た最後のメール(10月26日付)をご披露し、魂の安らかなることを祈ります。

合掌

『(前文略) お陰様で少ししんどいですが、やっとガンと闘えそうです。Y'sには暫く行けませんが、ガンバって早期復帰に努めます。ご心配なく。感謝。』

「フランス・ルルドからピレネー山脈を越えて  
サンチャゴ・デ・コンポステーラへ 2大聖地を  
訪ねて 10日間」(第5回)

7月22日(土)

いつもの朝シャン 2~3杯で、コンポステーラ旧市街観光。外は霧雨で寒い。カテドラル前から南に伸びる一番にぎやかなフランコ通りの一本東の通り(ここが本来のメインストリートで雨の多い土地柄、建物がアーケードになっている)を歩き市民の憩いの場となっていて、遊園地でもある緑豊かなアラメダ公園からみるカテドラルが美しい。

このアラメダ公園には2人のマリアさん姉妹が赤と青のワンピース姿で手をつないで立っておられる像がある。なんでもフランコ政権下の暗い時代に、それに抵抗するという無言の意思表示として明るく色鮮やかな服を着て連れ立って歩いていたとの事で、今でも街の人気者。

そして又、旧市街に戻り大学前を経て、コンポステーラの台所といわれる市場へ。肉屋さんには、天井から生ハムがぶら下がり、ケースには色々なお肉が並ぶ。果物屋さんには、数種類の桃、特に平べったい形の桃は、皮のままかぶりついてジューシーで美味。その他リンゴ、バナナ、キウイ、苺、ラ・フランス等が美しい。又、魚屋さんには名前の解らない魚達、エビ、カニ、アサリ、ムール貝、まて貝、亀の爪等がぎっしり並べている。そして、チーズ



屋さんには様々な色や形のチーズがあり、特にペペリアチーズ(少しスモークしてあり先が尖っているのでおっぱいチーズと言うらしい)が有名で土産に1ケ買った。八百屋さんには色とりどりの野菜の中に今が旬らしく例のピーマンの形をしたシントウが山積み。

次にいよいよ南側の銀細工の門よりカテドラルの中に。丁度ミサの最中だったので、静かに中央祭壇の裏の階段を昇り、聖ヤコブ像の裏側に回りハグをするのが習わし。中央には大きな銀の香炉が天井からぶら下がっていて、儀式の際には6人の男性が綱を引っ張って中央祭壇から栄光の門の間を振り回すとの事。少し前までは、サービスでよくやっていたらしいが、最近は「見せ物」ではないとの原点に戻り、回数が減ってしまい残念。回廊の周りの階段を上ると聖具室、宝物館、図書館等があり、外のバルコニーに出る事ができる。下の広場からはかなりの高さ。

その時、南のフランコ通りの向こうから大きな声で合唱しながらこちらに向かってくる40人位の集団が。皆、背中に大きなリュックをかつぎ、ある者はギターを弾き、他の者は手拍子と実に楽しそう。ゴールのカテドラルまでもう少し。ものすごくテンションが上がっている。ベランダから手を振ると、一層声を大きくして歌う。非常に若い巡礼者達の一行で、広場に着くや否やリュックを放り出して、皆で輪になっての踊りが延々と続き、目的を達成した喜びを爆発させている。

< 今月の詩 >

われ何をもてみたさん、  
神のたまえるこの日。  
そのひとときひとときに、  
みいぶきのかよえるこの日。

われひねもすみ名を讃えん、  
神のたまえるこの日。  
裏に火起こすときより  
子らのねむりつくまで。

神谷美恵子 (1914~79)

精神科医、哲学書・文学書の翻訳者、著述家としても知られる。1957年から15年間、ハンセン病療養所長島愛生園で患者に寄り添いながら、実践と思索の日々を送る。「何故私たちでなくてあなたが？あなたは代わってくださったのだ」とハンセイ病患者への思いを綴った詩は有名。ロングセラーの名随筆に『生きがいのついで』『人間をみつめて』などがある。

～「ポケットのなかの祈り」いのちのことば社フォレストブックスより～